

2019年8月5日

## 2020年3月期 第1四半期連結業績の概要

### <2020年3月期 第1四半期業績:連結売上収益>

全世界販売台数は、前年同期比 8.8%増の 263 千台\*1 となりました。

海外販売では、米国市場においてアセントおよびフォレスターの販売が好調に推移したことなどにより、同 9.7%増の 229 千台となりました。国内販売では、2018年7月に発売したフォレスターおよび2018年10月に「e-BOXER」\*2を搭載した追加グレードを発売した SUBARU XV の新型車効果などにより、同 2.9%増の 33 千台となりました。

連結売上収益\*3は、販売台数の増加などにより、同 16.0%増の 8,334 億円となりました。

当社は当期より、従来の日本基準に替えて国際財務報告基準(IFRS)を任意適用しています。

そのため、比較対象となる2019年3月期 第1四半期連結業績および通期連結業績(日本基準)を、IFRSに従って再計算した上で、比較・分析をしています。

なお、全世界生産台数は同 8.4%増の 262 千台となりました。

国内生産については、当社群馬製作所において、品質最優先で生産・検査を行うことを目的に見直した操業条件を2018年秋以降、現在も継続しているものの、フォレスターの新型車効果などにより前年同期を上回りました。

また、海外生産については、米国 SIA\*4において新型車アセントが増加したことにより、前年同期を大幅に上回りました。

### <2020年3月期 第1四半期業績:連結損益>

連結損益については、販売台数の増加および販売奨励金の抑制、諸経費等ならびに研究開発費の減少などにより、営業利益は前年同期比 48.4%増となる 922 億円となりました。税引前利益\*5は同 41.0%増の 893 億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益\*6は同 40.1%増の 665 億円となりました。

### <2020年3月期 通期連結業績見通し>

通期連結業績見通しについては、前回(2019年5月10日)発表値から変更ありません。

※ 前回(2019年5月10日)公表の通期連結業績見通し

全世界販売台数 1,058 千台

連結売上収益 3兆 3,100 億円

営業利益 2,600 億円、税引前利益 2,700 億円、親会社の所有者に帰属する当期利益 2,100 億円

想定為替レート ¥110/US\$、¥120/EURO

\*1:IFRS 任意適用により、日本国内のみ売上計上基準が変更。

日本基準:自動車の登録日に売上計上 IFRS:お客様への納車日に売上計上。

\*2:SUBARUらしい走りの愉しさに加えて環境にも配慮した、水平対向エンジンと電動化技術を組み合わせた新開発パワーユニット

\*3:日本基準における「売上高」を「売上収益」と表示。

\*4:Subaru of Indiana Automotive, Inc.

\*5:日本基準における「税前利益」を「税引前利益」と表示。

\*6:日本基準における「親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益」を「親会社の所有者に帰属する当期(四半期)利益」と表示。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。